第 41 回　歴史地震研究会　総会資料

日時：2024 年 9 月 13 日（金）
場所：木曽町文化交流センター

総　会　次　第

開会

定足数確認、会長挨拶
議長選出

第一号議案　2023 年度事業報告および決算報告
幹事会から 2023 年度事業報告および決算報告を説明し、承認を求めます。
監査役から会計監査報告について説明があります。

第二号議案　会長選出
幹事会に届け出があった立候補者について説明します。会長の選出を求めます。

第三号議案　監査役選出
幹事会に届け出があった推薦について説明します。監査役の選出を求めます。
2024 年度会長挨拶、2024 年度役員指名

第四号議案　2024 年度事業計画および予算案
幹事会から 2024 年度事業計画および予算案を提案し、承認を求めます。

議長解任

閉会

第一号議案　2023 年度事業報告および決算報告

１．2023 年度事業報告

2023 年度（2023 年 8 月 1 日～2024 年 7 月 31 日）は、以下の事業を行った。

(1)　研究成果発表会および講演会

① 歴史地震研究会（小田原大会）の開催

以下の通り、第40回歴史地震研究会（小田原大会）を開催した。

主催：歴史地震研究会

会場：小田原三の丸ホール

日程：2023 年 9 月 1 日(金)～3 日(日)

1 日：研究発表会・懇親会

2 日：研究発表会・総会

3 日：巡検・公開講演会

参加者 116 名，口頭発表 29 件，ポスター発表 15 件

② 歴史地震研究会（木曽御嶽大会）の開催準備

第41回歴史地震研究会（木曽御嶽大会・公開講演会・地域交流会）の開催に向けて準備した。

日程：2023 年 9 月 13 日(金)～15 日(日)

13 日：研究会・総会・懇親会

14 日：研究会

15 日：巡検・公開講演会・地域交流会

研究会会場：木曽町文化交流センター（多目的ホール等）　後援：木曽町

公開講演会・地域交流会会場：王滝村公民館　共催：王滝村　後援：国土交通省中部地方整備局、長野県、木曽町、王滝村教育委員会、木曽町教育委員会、御嶽山火山マイスターネットワーク、名古屋大学（減災連携研究センター，地震火山研究センター，御嶽山火山研究施設）

(2)　会誌の刊行

2024年7月31日に『歴史地震』第39号を発行した。論説11編、資料4編、報告4編、講演要旨35編、研究会記事1編を掲載し、総頁数は264ページであった。

発行部数は420部。発行時の会費納入済み会員248名および無償送付先（大学・公立図書館等）123箇所に送付した。

(3)　広報活動

迅速な情報提供のため、以下の活動を行った。

① 歴史地震研究会ホームページ

2023 年度中の主な更新内容は、『歴史地震』38 号（2023）の PDF 版の掲載、総会と幹事会議事録

の掲載、第 41 回歴史地震研究会（木曽御嶽大会）の案内の掲載である。

② 大会の周知

大会への発表募集・会場等の案内や公開講演会等について、日本地球惑星科学連合・日本地震学会・日本活断層学会・日本地質学会・史学会・人文地理学会・日本史研究会等へニュースレター・メーリングリスト・ホームページ掲載を通して告知を行った。

③ メーリングリストの管理

研究会メーリングリストおよび「musha」への登録・更新・不達のチェックなどを行った。

④ 問い合わせの対応

研究会への問い合わせについて対応を行った。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰

功績賞授賞者 1 名（中村操会員）を幹事会で決定し、2024 年 9 月 13 日（金）に授賞式を行う。

(5) その他

① 総会

2023 年 9 月 2 日（土）に総会が招集された。総会参加者は 65 名、委任状提出 17 名であった。総会議事録は、ホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』39 号に収録した。

② 幹事会

2023 年度は、以下 4 回の幹事会を行い、歴史地震研究会の運営・事業について議論した。監査役には幹事会への出席を求め、適切な審議が行われるように努めた。幹事会の議事録をホームページに掲載するとともに、会誌『歴史地震』39 号にも収録して会員に審議内容を伝えた。

2023 年 8 月 10 日（2023 年度第 1 回歴史地震研究会幹事会）
2023 年 12 月 19 日（2023 年度第 2 回歴史地震研究会幹事会）
2024 年 5 月 9 日（2023 年度第 3 回歴史地震研究会幹事会）
2024 年 6 月 14 日（2023 年度第 4 回歴史地震研究会幹事会）

２．2023 年度決算報告

2023 年度（2023 年 8 月 1 日～2024 年 7 月 31 日）の決算は次表のとおり

歴史地震研究会　2023年度　決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2023年度会費	884,000	916,000	32,000	4000円×229名
	2022年度会費	0	28,000	28,000	4000円×7名
	2021年度以前会費	0	9,000	9,000	3000円×3年分×1名
	2024年度会費	0	220,000	220,000	4000円×55名
	2025年度会費	0	12,000	12,000	4000円×3名
	会誌バックナンバー代	0	25,700	25,700	会誌22部
	会誌口絵代・超過頁代	0	69,000	69,000	口絵×3
	2023年度小田原大会剰余金	0	56,801	56,801	
	寄付他の収入	0	40,000	40,000	寄付（20000円×2名）
	前年度繰越	3,836,185	3,836,185	0	
	合計	4,720,185	5,212,686	492,501	

支出	2023年度小田原大会関係費	100,000	0	▲ 100,000	剰余金のみ
	次年度以降大会準備費	150,000	0	▲ 150,000	
	歴史地震39号印刷・発送代	855,000	950,411	95,411	420部
	歴史地震編集費	25,000	0	▲ 25,000	
	HP管理費	10,000	10,582	582	
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	功績賞関連費	100,000	59,865	▲ 40,135	
	雑費（通信費・文房具購入など）	30,000	7,340	▲ 22,660	資料送付料・他
	合計	1,470,000	1,028,198	▲ 441,802	

次年度繰越金	3,250,185	4,184,488	934,303	

※ 2023 年度会費は、2022 年度末までに 25 名が納入済み

第二号議案　会長選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 2 項に基づき、3 名以上の会員の推薦を得て、佐竹健治氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。

第三号議案　監査役選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 4 項に基づき、3 名以上の会員の推薦を得て、植竹富一氏および諸井孝文氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。

第四号議案　2024 年度事業計画および予算案

１．2024 年度事業計画案

2024 年度（2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日）は、以下の事業を行う計画である。

(1)　研究成果発表会

① 第41回歴史地震研究会（木曽御嶽大会）の開催

歴史地震研究会発足40周年にあたり、第41回歴史地震研究会（木曽御嶽大会）を木曽町文化交流センター（多目的ホール等）において開催する。また、長野県西部地震発生から40年にあたり、王滝村公民館において公開講演会・地域交流会を開催する。

② 第 42 回歴史地震研究会の開催準備

以下の要領で第 42 回歴史地震研究会を開催するために必要な準備を行う。

会場：兵庫県豊岡市　芸術文化観光専門職大学（予定）

日程：2025 年 9 月 26 日（金）～9 月 28 日（日）（予定）

研究発表会・巡検・懇親会・公開講演会（予定）

③ 第 43 回歴史地震研究会の開催準備

第 43 回歴史地震研究会を開催するための候補地選定および日程調整などの準備を行う。

(2)　会誌の刊行

会誌『歴史地震』第 40 号を 2025 年 7 月末頃に発行する。第 41 回歴史地震研究会での発表に基づく論文を中心に募集するが、第 40 回以前の歴史地震研究会での発表に基づく論文や、未発表原稿についても募集を行う。編集作業は会誌編集規定に沿って行う。『歴史地震』第 40 号の原稿の締め切り日は 2024 年 11 月 30 日（土）である。

(3)　広報活動

迅速な情報提供のため、歴史地震研究会ホームページと連絡用メーリングリストの運営・管理を行う。なお、会員向けのお知らせは、件名に「[mem_hes:*****]」(*****は通番）がついているメールである。未登録者は連絡いただきたい。通常は幹事会からの案内のために使用し、配信には広報担当の確認が必要である。また、メーリングリスト musha についても運営・管理を行う。

(4)　歴史地震研究に関する業績の表彰

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する。

(5)　その他

上述の各項に関して、適切な審議を行うため、2024 年 9 月 13 日（金）の総会および監査役を招いた年間 5 回程度の幹事会を開催する。

２．2024 年度予算案

2024 年度（2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日）の予算案は次表のとおり。

歴史地震研究会　2024年度　予算案

項目		金額	内訳
収入	2024年度会費	752,000	4000円×188名（会員244名−納入済み56名）
	前年度繰越	4,184,488	
	合計	4,936,488	

支出	2024年度木曽御嶽大会関係費	150,000	
	次年度以降大会準備費	100,000	
	歴史地震40号印刷・発送代	1,008,000	2400円×420部
	歴史地震編集費	25,000	査読料，編集補助謝金等
	HP管理費	10,000	
	会議費	100,000	
	功績賞関連費	100,000	
	雑費（通信費・文房具購入など）	30,000	
	合計	1,523,000	

次年度繰越金	3,413,488	

説明資料

(1) 2023 年度会計監査報告書

歴 史 地 震 研 究 会

会 長 佐 竹 健 治 様

2023 年度会計監査報告書

歴史地震研究会 2023 年度収支決算報告の監査を行い，予算の執行，帳簿，証票の整理等，正常適正に処理されていることを確認いたしました。ここにご報告いたします。

以上

2024 年 8 月 19 日

会計監査 諸井孝文

会計監査 植竹富一

(2)会員の現況及び会費受取状況

昨年の総会で報告された会員数246名に対し、2023年度は以下に示す新規入会者9名、退会者10名があった。さらに2023年度会費の滞納によって2024年度の会員特典を停止された10名を減じ、休会または除名からの復会1名ならびに2023年度の会員特典停止からの復活8名を加えて2023年度末の会員数は244名となった。

なお2022年度以降の会費が未納の会員10名は、会則第11条第2項に則り除名とした。

一方、2023年度会費は254名からの受取があり、これは2023年度末までに会費納入義務のある会員264名（2022年度末会員246名＋入会9名＋復会1名＋復活8名）の約96%に相当する。

会員の現況

2022年度末会員数	246名
2023年度末会員数	244名
増減	▲2名

会員数増減の内訳

■新規入会者:9名

大林直矢　飯田朋美　宮川充史　柳井七海　北村昌卓
山浦直人　吉見瑶子　中川和之　山本卓

（敬称略，申請順）

■退会者:10名

日名子健二　蟹江由紀　中野晋　田邊晋　松山昌史
阪本尚生　南怜奈　河田惠昭　山本博文　早田守廣

（敬称略，届出順）

■2023年度会費滞納につき2024年度会員特典停止:10名

■休会または除名からの復会:1名

■2022年度会費納入につき2023年度会員特典復活:8名

■2022年度以降会費未納につき2023年度末除名:10名

会費受取状況

2023年度会費	254名（会員264名*1の96%）
2024年度会費	56名
2025年度会費	3名

*1）2022年度末246名+入会9名+復会1名+復活8名

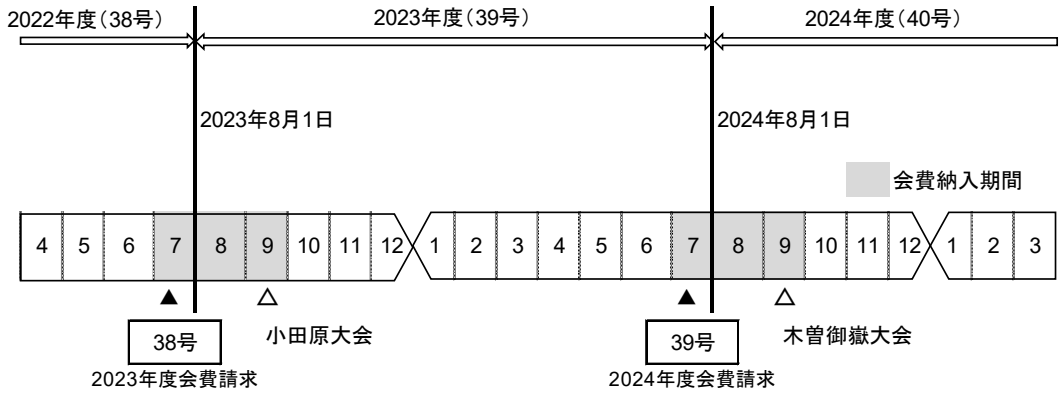

図1　歴史地震研究会の会計年度と年会費の納入期間

(3) 2023 年小田原大会の収支報告

2023 年小田原大会（2023 年 9 月 1 日～3 日）の収支概要を次表に示す。

2023年度小田原大会 収支報告

項目		合計	内訳
収入	参加費（会員・非会員）	230,000	2000円×115名
	懇親会会費（一般）	385,000	7000円×55名
	同（学生）	24,000	4000円×6名
	巡検参加費	90,000	2000円×45名
	会場費等の助成金	147,466	神奈川県危機管理防災課
	合計	876,466	
支出	大会会場費（含付帯設備費・会議費）	232,000	小田原市民ホール
	懇親会費	434,700	報徳会館（6900円×63名）
	巡検バス代	50,400	江ノ電バス（大型バス×1台）
	巡検保険料	4,385	参加者55名分
	雑費	7,685	乾電池・名札
	振込送料	495	165円×3
	アルバイト謝金	90,000	1万円×(3日×2名+2日×1名+1日×1名)
	合計	819,665	
収支差額		56,801	剰余金